

特別の教科 道徳

子どもと

教師がつくる

道徳の授業

～「なるほど！」がある授業をめざして～

横浜国立大学附属鎌倉小学校
根本 哲弥

【1】

はじめに

～子どものすがたより～

1年間の授業を終えた子ども感想

道徳とは「**答えがあるようでない、ないようである授業**」であると思います。道徳では、日常で**当たり前なこと、有りうること**が多く、自分の考えとみんなの意見を比べあって考えが広がり深まり楽しくなっていきます。～中略～私はなぜ道徳が深まるのかについて一つ見つけてしまった気がしました。それは、道徳の教科書は**お話が途中までしか書いていないから考える力が大きく変わる**と思いました。この1年で大きく変わったクライマックス教科だと思いました。**この世は道徳の材料でできている**と思います。～中略～道徳という教科が世界中にあればいいのになと思います。

だいたい
はお話しかとちゅう

と言う教科に目を

Fさん

1. はじめに

主体的な
学び



問い
(問題意識)

ムムッ!



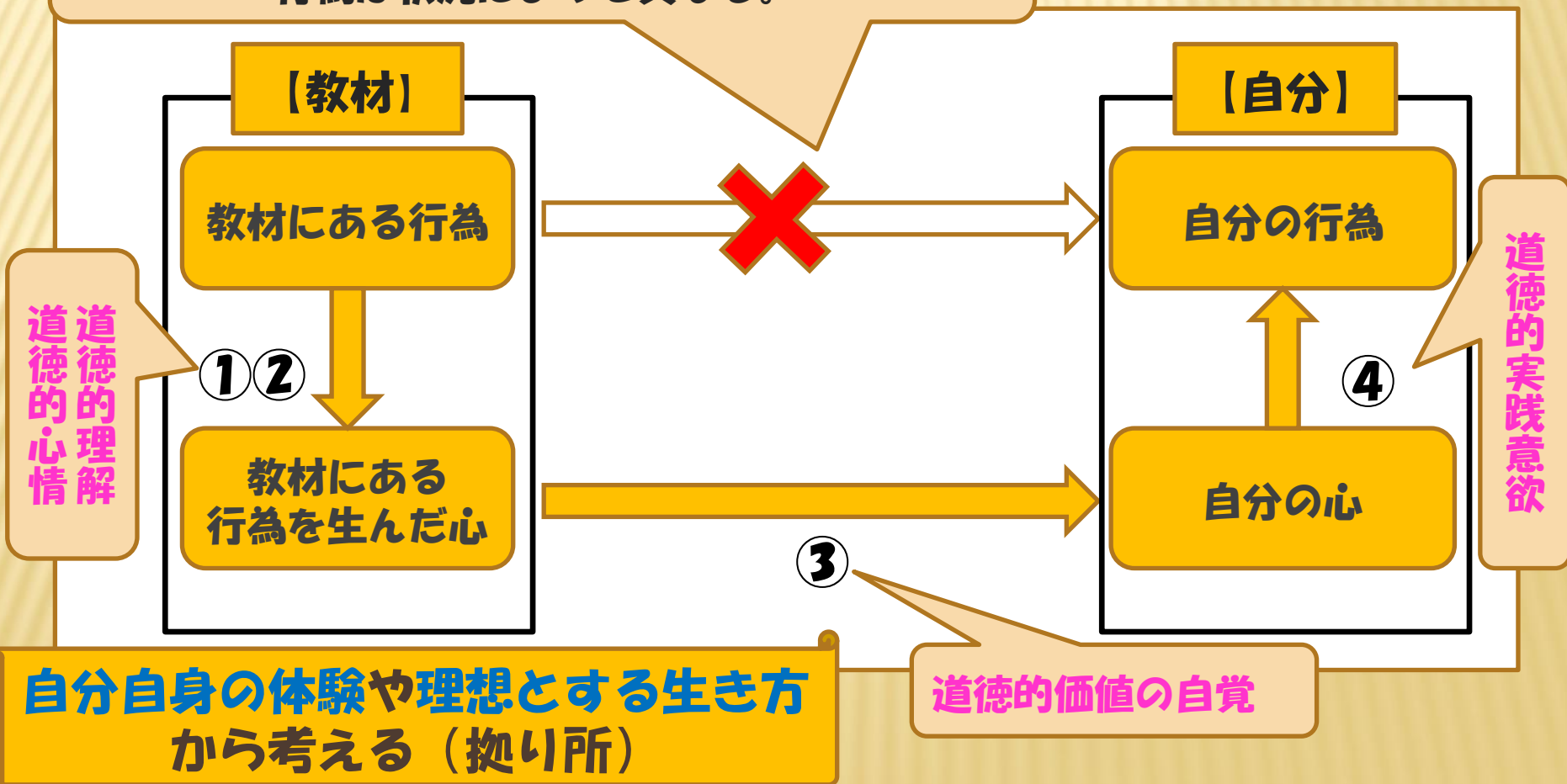
どうい
う
ことだ!?

- ・ 当たり前を当たり前と思わない。 **(概念崩し)**
- ・ 発想を変えて考える。
※よい（悪い）と思われていることをあえて
否定的（肯定的）に考える

※基本的な考え方

よさに向かう行為と行為を生む心を考えていく授業

- 【理由】
- ・行為はよくても心はよいとは限らない。
 - ・行為は状況によって異なる。



主体的



対話的



深い学び

はじめ



なか



おわり

テーマ



考え

おはなし

先生の考え



友だちの考え

考え



レベルアップ!



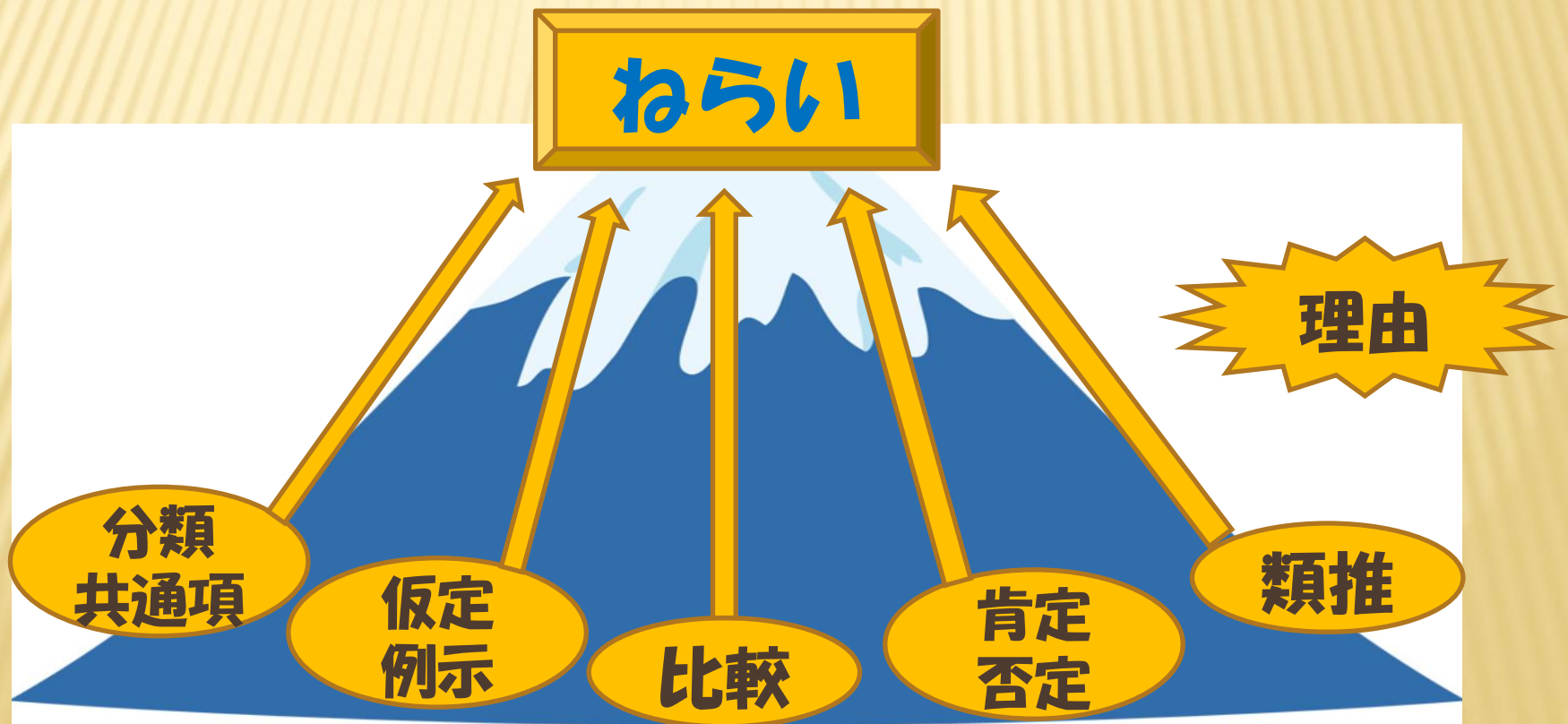
【2】 授業法研究

～主に「発問」、「板書」～

2. 授業法研究

～発問・問い返し～

- ・ カテゴリーを意識すると考えやすい。
- ・ ねらいに迫れるかどうか。
- ・ 屁理屈と思われる発想がよい発問を生むことも！？



2. 授業法研究

～発問・問い返し～

☆比較

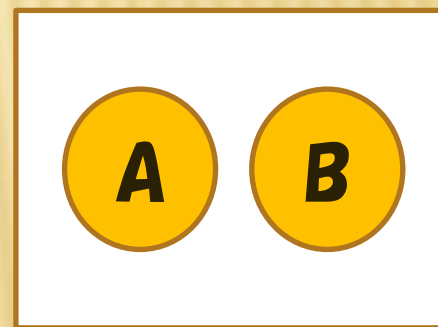
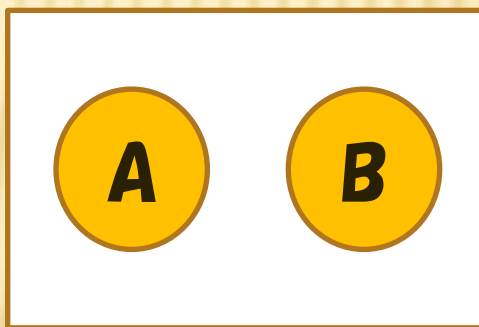
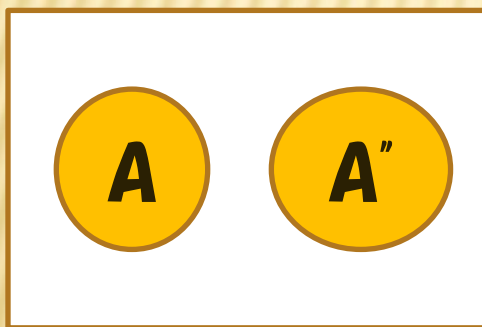
「違い」がよく見える

→物事の特徴や考え方がより明らかになる。

登場人物の前後の比較

登場人物同士の比較

新たな比較対象



2. 授業法研究

～板書・道徳ノート～

①記録

②練習

③思考

板書・道徳ノート = 〇〇するための**方法**

④評価

⑤表現

⑥つなぎ

2. 授業法研究

板書は思考を
広げ深めるための手助け

それぞれの特徴を
知って活用する

考え方のヒント ① (絵・図)

1. 表情や数字で考える



-100 ~ 0 ~ 100

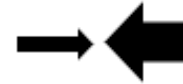
2. 山や円を使って考える



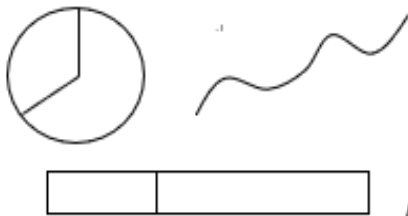
3. 色や矢印を使って考える

赤・・・うれしいこと、よいこと。
青・・・かなしいこと、わるいこと。
黄色・・・その他。

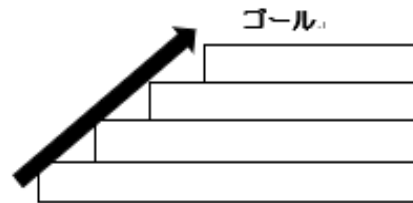
矢印の太さや向き



4. グラフを使って考える



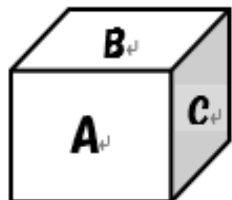
5. 階段を使って考える



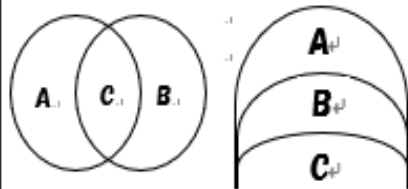
6. 言葉をつなげて考える



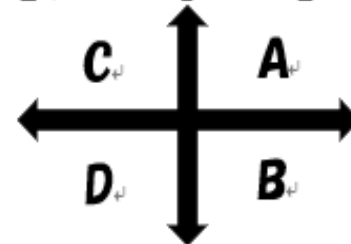
7. 見方を変えて考える



8. 図にして考える ①



9. 図にして考える ②



発問や板書が
向かうところ...

【3】

教材理解

～「多面的多角的」について～

3. 教材理解 ~多面的多角的~

きまり

道德の拠り所は
自身の経験(個別的)

共通解

唯一解

正解

納得解

最適解

道德の目指したい解

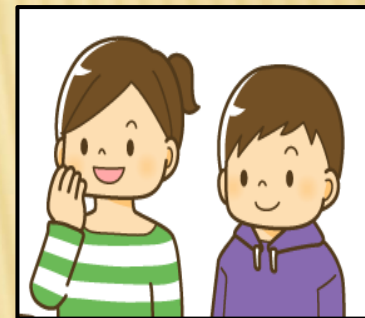
状況によって異なる

3. 教材理解 ～多面的多角的～



自分が**納得**できる。

納得解



みんなが**納得**できる。

教師が**指導者**としてではなく、
一人の人間として教材を**広く深く読む**

**教師が指導者としてではなく、
一人の人間として教材を広く深く読む**

手掛かりとして

- ①目に見える行為と目に見えない行為を生む心、
人間の強さと弱さから読む**
- ②中心となる内容項目と関連する内容項目から読む**
- ③人物同士の関係性から読む（人物相関図）**
- ④教材前と教材後の世界を意識して読む**

教材を多面的・多角的にとらえる

3. 教材理解

～もとに向かう授業作り～



▲ ... 「この発問（方法）をすると、
子どもたちが盛り上がりそうだ！！」

○ ... 発問（方法）の意図がねらいにつながるか吟味し、精選する。

【4】

実践紹介

～「ひみつのトレーニング」～

【ひみつのトレーニング】

「光文書院 ゆたかな心・5年」

<ひみつのトレーニング ～あらすじ～>

陸上部に入って1年、足が速かったたくやさんは、タイムが伸びず、悩んでいた。その姿をみた由紀さんは、たくやさんに声をかけた。由紀さんがみるみるタイムが速くなるのは、柔軟運動や生活リズムが関係していることに気付いたたくやさんは、自分も早寝早起き、食事の取り方などを改めることにした。2か月後のある日、タイムを計ると自己最高タイムを記録したたくやさんは、ガッツポーズをして喜び、由紀さんにもにっこりと笑って声をかけてきた。

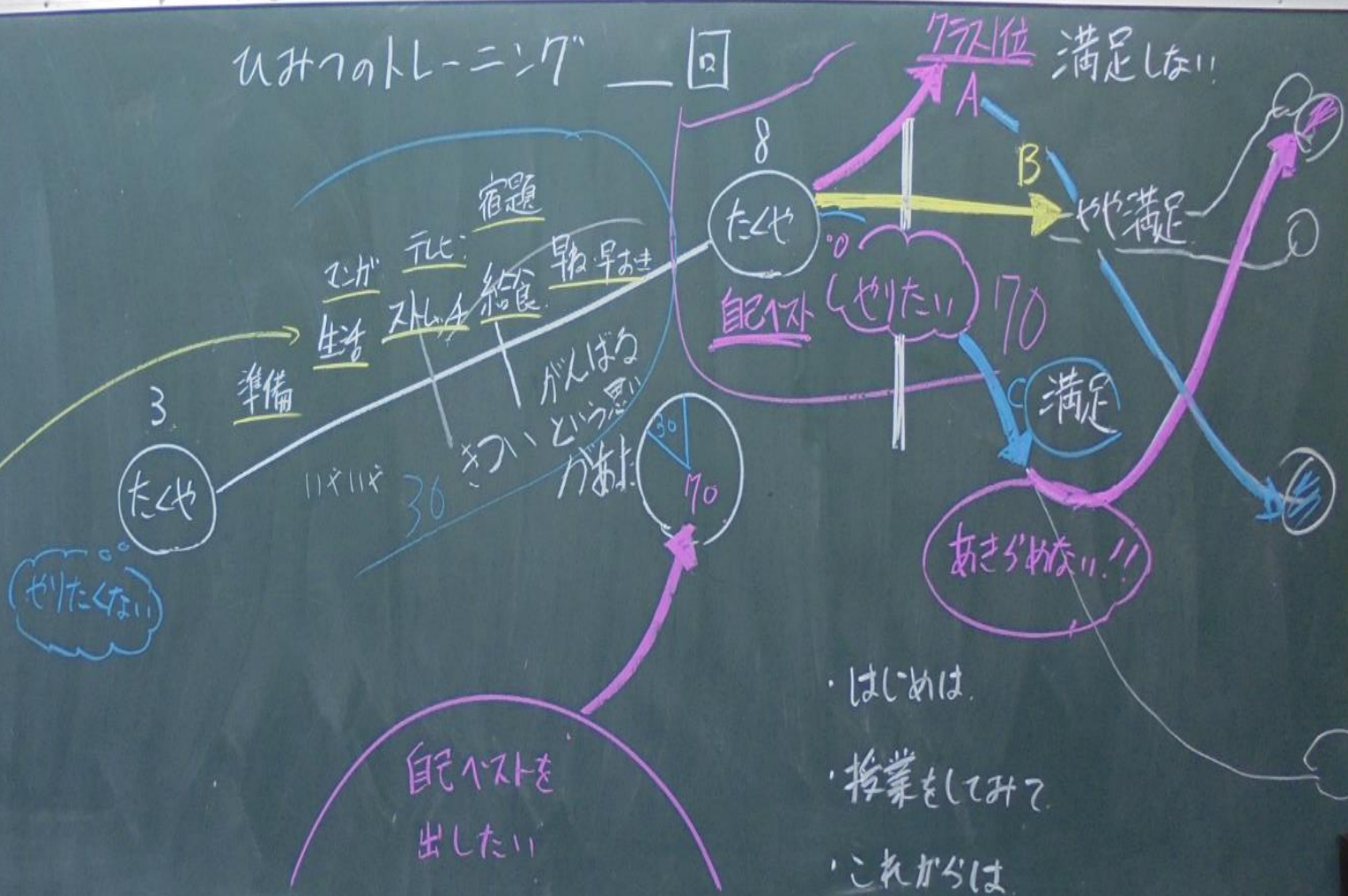
【ひみつのトレーニング】

『光文書院 ゆたかな心・5年』

<レベルアップ>

- ・がんばる(練習)
努力
- ・じゅうなんをしておく
- ・自主練習をやる
- ・やっていることを見る
- ・生活態度
- ・竹筒し

ひみつのトレーニング ①

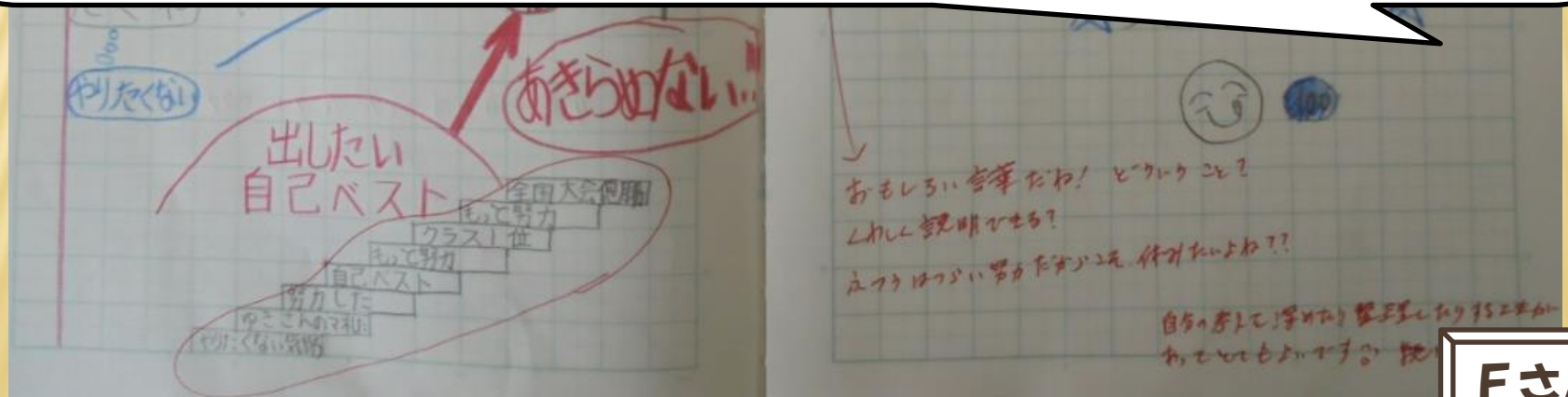


- ・はいめは
- ・授業をしてみろ
- ・これから

【ひみつのトレーニング】

「光文書院 ゆたかな心：5年」

はじめ授業をしてみて、レベルアップには「～～する」とかが出たけど、授業をしてみると、たくやさんはとても**自己ベストを出したい気持ち**が伝わってきました。この**つらい努力**をしてからこそ、**また挑戦したい気持ち**が生まれてくるんだと思います。これからは、私もバレーで柔軟などを人一倍頑張りたいと思いました。たくやさんのようにいいところをマネしてレベルアップにつながると思います。



Fさん

私は、授業をしてみて、**前の授業とつながった**と思います。私の前回の感想で、みんなが納得してくれて、とても楽しい授業になりました。ひみつのトレーニングは何度やってもいい授業になると思いました。色々な疑問が生まれてとてもよかったです。挑戦したい気持ちが生まれてくるとは、**失敗してもまたやりたい気持ちを自分なりに考えた言葉**です。たくやさんではなく、ゆきさんも結構関係していることが分かりました。今日授業をして、またこんな楽しい授業をしたいです。

Fさん

1時間の授業だけでなく、連続して考えることで、考えをさらに広げたり深めたりすることができました。特に、「ひみつのトレーニング」では、人間には、「失敗してもまたやりたい」という気持ちがあるということをも自分の言葉でまとめ、自らの成長に喜びを感じていました。

【ひみつのトレーニング】

「光文書院 ゆたかな心・5年」

(1) 比較

・はじめのたくやさんとおわりのたくやさんのレベルはいくつ？

・A・B・Cの三つの違いは何か？

(2) 仮定（比較）

・じごくルートがあるということは、天国ルートもあるの？

(3) 肯定・否定

・すっかりなれていいの？ つらい努力してないよ？
はじめからテレビも漫画も見ずに、休みの日も休まず練習したほうがよいのでは？（否定）

・たしかに何もしなくても、これから成長するから高校生くらいになると自然と足が速くなるね！（肯定）

【5】

おわりに

～子どものすがたより～

1年間の授業を終えた子ども感想

道徳の意味とは、人としての在り方、そして生き方について
知ることだと思いました。～中略～道徳は、みんなやって
それぞれがそれぞれの考えを深め、広げる。考えが深まり、
広がることで道徳の楽しさも増え、考えを深めた人、広げた
人、もとななる考えを作った人、それを聞いたすべての人が
楽しさを実感することができるのだと思いました。また、図
や表、グラフなどを使うこともとても役立ちます。図や表な
どを使って、**最終的に深く、広い考えをそれぞれが持つこと
ができれば、それが道徳のあるようでない答えといってもい
いんじゃないか**と思いました。

Tさん

【道徳の授業を考える手順】

授業の もと

- (1) 教材を多面的・多角的にとらえる。(教材理解)
- (1) 子どもの実態を把握する。(子ども理解)
- (1) 内容項目を解釈し、ねらいを立てる。

授業の 方法

- (2) 中心発問と補助発問(問い返し)、導入を考える。
- (2) 板書を考える。
- (3) 子どもたちの学び合いの場を考える。(書く・話し合う)
- (4) 子どもたちの変容が見られたり、今後の生活に繋がられたりするような終末・発展を考える。

特別の教科 道徳

子どもと

教師がつくる

道徳の授業

～「なるほど！」がある授業をめざして～

ありがとう
ございました！

横浜国立大学附属鎌倉小学校
根本 哲弥